

科目名	真宗学概論Ⅱ					単位	2.0
担当教員	廣瀬 惺						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	5402

●授業のテーマ

真宗とは何か、その宗教的意義を学ぶ

●到達目標

真宗とは何か、専門を学ぶにあたっての導入的な意味において、まず感覚的に理解できるようにする。また、真宗学の基本的な用語を習得する。

●学習内容(授業概要)

初めて真宗・親鸞の教えを知る学生諸君と学ぶ。学ぶについては、真宗を教理としてではなく、真宗の世界を生きたこととして表現している親鸞の言葉に直接出会うかたちで学びたい。具体的には、親鸞の主著『顕浄土真実教行証文類』（『教行信証』）の素読を中心にすえて、随時、意味している事柄についてその了解を述べるといふかたちをとる。

素読については、「素読は有機農法における土づくりとおなじで、即効性を求めない。意味や内容など理知的な面については説明しないので、ことばの響きやリズムといった感性的な面だけが、時間をかけてじっくり耕され、根がしっかり育つ。」（安達忠雄著『素読のすすめ』より）との指摘がある。また、必要に応じて、宗教とは何か、仏教とは何か、真宗とは何か等の基礎的な事柄についての講義もはさんでいくこととする。また、これから真宗学を学ぶにあたり、必要と思われる基礎的な事柄については暗記する。

●学習内容(授業計画)

- 1・「信巻」の別序
- 2・「信巻」の大信釈
- 3・「信巻」の経文証
- 4・「信巻」の論註引文
- 5・「信巻」の善導の三心釈至誠心釈
- 6・「信巻」の善導の深心釈
- 7・「信巻」の善導の回向発願心釈
- 8・「信巻」の二河譬
- 9・「信巻」の三一問答字訓釈
- 10・「信巻」の三一問答の仏意釈至心釈
- 11・「信巻」の三一問答の仏意釈深心釈
- 12・「信巻」の三一問答の仏意釈欲生心釈
- 13・「信巻」の問答帰結
- 14・「信巻」の信一念釈
- 15・予備

●準備学習・事後学習の内容

毎回、次回の授業について予習しておくべきことを指示するので、その指示に基づいて予習をして授業にのぞんでください。また毎時間、学んだ内容を記したノートで、復習として読み直してください。

●成績評価方法・基準

試験 8割 出席等平常点 2割

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：『真宗聖典』、出版社：東本願寺出版部刊、販売先：学内

●参考文献／その他

随時指示する。

●履修上の注意

受講生との呼応を大切にしたい。授業への積極的な参加を望む。また、素読中心の授業なので、そのつもりで臨むこと。毎時間「真宗聖典」必携のこと。

学生諸君の様子を見ながら授業を進めていくので、かならずしもシラバス通りに進むとはかぎらない。